

人続出と聞いていてお伝えしましたが、今回はプロの方がして下さい、事なきを得ました。

そしていよいよ10日目。本願寺の御影堂にて「得度式」を行いました。聖人が得度された時を再現して、虫燭のみでの灯りで行いました。ほぼ真暗な中、息をためらう程の静けさの中、夕刻5時ちょうどに始まりました。

そして御門主様の登場。剃刀を頭に3回あてる「お髪剃り」と呼ばれる儀式を一人ずつにして下さいました。この瞬間僕は一瞬僧侶となりました。



授かった法名は「釋淳信」。これは住職が考えて下さいました。本名の「淳」という字は「あつく」という意味があり、お経本から頂いた「信」という字は浄土真宗で最も大事とされる「信心」の字です。「あつくしんじる」という意味の法名となり、その名の通り阿弥陀様をあつく信じれる僧侶になりたいと思いました。(信の字は僕のおじいちゃんの名前でもあるので、なんだか縁を感じます)

最終日は、本願寺と親鸞聖人のお墓がある大谷本廟にお参りをし、無事僧侶にならせて頂いた事を報告させて頂きました。

短いようで長かった得度習礼。日々仏教についての新しい知識や経験が身につく刺激的で非常に有意義でした。先生方や班にも恵まれ一生の思い出になりました。到任メンバーと連絡先の交換をしたのですが、80代のおじいちゃんもLINEを使っていてビックリ!

同じ念仏の道を歩む仲間「御同朋」としてこれからもぜひ交流したいと思います。ようやくスタートラインに立つ事ができました。「勉強布教を怠らない」という僧侶の心得を忘れぬように頑張りたいと思います!



僧侶・森嶋淳哉



冬野菜、育ってきました。夏と違ってお手入れが楽です。早く大根食べたいな。

# 日々のあわ

12月6日の報恩講法要、お陰様でつづがなくお勤めすることができました。お参りくださった方、配信をご観くださった方、気にかけてくださった方に感謝申し上げます。お念仏の道をお示しいただいた宗祖親鸞聖人の遺徳を偲び、み教えに遭えたよこびに改めて思いをいたす機会となれば嬉しく思います。

当日は、希望者にお斎の折詰をお持ち帰りいただきました。宗祖や祖先と同じお念仏に生かされていることに感謝し、いのちを支えてくれる他のいのちに感謝する精進料理のお弁当です。作ってくださったのは岩出市根来の「CASA DÉCHA 1472」さん。およそ2ヶ月をかけて、報恩講や精進料理の意味を消化しながらたくさんアイデアを出してくださり、ようやくひとつの形となりました。食材から出汁にいたるまで、動物性のものを一切使わないという精進料理の基本を押さえながらも、季節の食材にスパイスやハーブを交かせた各国料理が特色のカサデチャさんらしく、食材の組み合わせや味付けに驚きがあり、お料理ごとの食感の違いも楽しい、これまでにないお斎になったと思います。

今回はコロナ禍ということもあり折詰をお持ち帰りいただくという形をとりましたが、状況が落ち着いたら皆さんと一緒にお斎をいただきたいものです。

「あずきは親鸞聖人の好物だったそうです」とか「炊き合わせの椎茸を笠、ごぼうを杖、人参を手足の赤ぎれの色...のように、関東を徳化されている頃の聖人のお姿に見立てる地域もあるそうですよ」などとお話ししながら...

いつかのその日を楽しみに。なんまんだぶ、なんまんだぶ...



ストレートネックや肩こり頭痛に悩み、重い腰を上げてゆるい筋トレとストレッチを始めました。続くかどうか、それが問題だ。

坊守

おしえて! 和尚!

**仙事 Q & A** 保存版

第5回

皆様からよく寄せられる「仙事、こんな時はどうすれば?」というご質問について、なるべくわかりやすくお答えしていく不定期のコナラーです

ちやうでん  
弔電を送る際、何か気を付けることはありますか?

しつもん

浄土真宗にはふさわしくない表現がありますのでご注意ください。

こたえ

葬儀の際に耳にする弔電。公人や故人の職場関係の方から届けられるものが多いたのですが、昨年の緊急事態宣言発令中は一般の方からもよく届いていました。県をまたいでの参列が控えられる中、遠方に住む親族やお孫さんから届く弔電は、「おじいちゃん、遠くから手を合わせています」など、自身の言葉で気持ちを表しているものが多く、つい聞き入ってしまいました。ところで弔電には浄土真宗にふさわしい言葉、そうではない言葉があります。どれも心のこもったものであり、悪気がないのは重々承知していますが、せつかくの機会です。

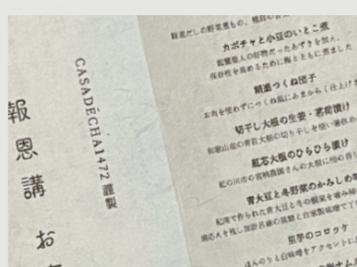
はじめての  
**報恩講法要**

昨年12月6日に報恩講法要をお勤めいたしました。実は私、前夜は緊張でほとんど眠ることができませんでした。なぜあのように緊張したのか今でも分かりませんが。

普段とは違う本堂の飾り付けや、正信念仏偈に音楽を重ねての読経と法話、カサデチャ1472さんによるお斎(お弁当)、親鸞聖人イラスト入りの和歌浦せんべい、など善称寺ならではの演出ができたのではないかと感じております。本堂に参拝して下さったのは20人程で、オンライン配信で45の方が見て下さいました。法要後に「御絵伝」をみなさんでお内陣に入って見てくれたことが嬉しかったです。「これが親鸞聖人の得度の様子やで」など描かれている内容の説明をして下さった方もあり、心が温まる一場面でした。お寺の物置に眠っていた「御絵伝」が、実は300年ほど昔の物だということが判明したのも今回の報恩講がきっかけです。色々な意味で伝統が復活した思いです。

今年も予定しておりますので、今回ご縁のなかった方もぜひご参加くださいね!

ほんわか心が温まるようなやさしいお味でした

夜中にアマゾンプライムで映画を観ながらスナック菓子やアイスを食べるという至福のひとつ。今年は何回味わえるかな。

住職・宇治田真宣